

身近な地質スポット

月出の中央構造線／三重県松阪市飯高町月出

今回は、日本でも数少ない大規模な中央構造線が見られるということで、三重県の中部に位置する月出の中央構造線へ行ってきました。

「月出の中央構造線」の露頭は、松阪ICから国道166号(旧和歌山街道)を、櫛田川に沿って車で約90分ほど進み、飯高北奥林道の直下に位置しています。(2ページ目地図を参照)

この場所は、高さ約80m×幅約50mの露頭で、断層を挟んで左側(日本海側)では白色花崗岩類に由来するマイロナイトが、右側(太平洋側)には黒色片岩が露頭しており、色彩の違いからも断層が簡単に認識することができます。(写真-1)

また、発見に至った経緯も興味深く、

- ・1959年(昭和34年)の伊勢湾台風時の崖崩れによって伴って露頭の一部が現れる。
- ・1995年(平成7年)に、阪神・淡路大震災の地質学者による現地調査報告書で学術的価値が説かれる。
- ・その一方で、櫛田川上流部での治山治水事業が進む中、研究者や教育界から、貴重な月出露頭の保存について県や町に提言されるようになり、県営治山事業で治山と保護の両立を図った工法を進めた結果、露頭が全面に見られるようになる。
- ・1997年(平成9年)、このことが学会誌「地質学雑誌」に発表されて月出の露頭は全国にも知られるようになる。
- ・2002年(平成14年)には国の天然記念物に、平成19年には「日本の地質100選」にも選定される。

といった経緯があり、学術的にも価値のある場所であることがわかります。

しかし、低温で長期間高圧にさらされた地層の境界面はとても脆くなっており、断面部分(写真1の赤線部分)は、日々、風雨等の影響によって発見当初と比べるとハッキリとは見えづらくなっていると思われます。(平成29年現在)

観察路や説明板などもしっかり整備されており、「中央構造線」を安全に観察することができる貴重な場所なので、皆様も是非この機会に一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



写真-1 月出の中央構造線露頭部分



出典： 中央構造線博物館ホームページより

外帯と内帯とは？

中央構造線をはさみ、太平洋側を外帯、日本海側を内帯といいます。

内帯の伊那山地側には、花崗岩・高温低圧型の領家変成岩・外帯の南アルプス側には低温高圧型の三波川結晶片岩と、全くでき方の違う岩石が接しています。

これらの岩石は深さにして約20km、距離にして約60km離れた場所でできた岩石です。

余談ですが、

この地質スポットの近くには、こんなお店がありました。

【限定！ しおちゃんのみそラーメン】

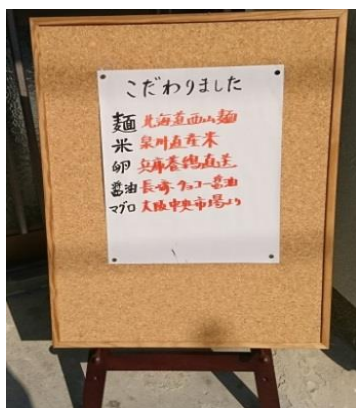


出典： 地図データ ©2018 Google マップ より



限定！ しおちゃんのみそラーメン
三重県松阪市飯高町加波 527-7
Tel 090-2289-8031
営業時間/ 土曜日 10:30～
日曜日 10:30～15:00
限定 20 食！ 無くなり次第終了

- ・みそラーメン 700円
- ・鯖丼（小） 500円



太めの柔らかい麺で少し甘めの味噌スープが程よく、優しい味です。鯖丼もセットでおすすすめです。

ご主人のしおちゃんは普段大阪に住んでいて、趣味で土日のみ営業しているようです。

店内の民家を改装したような作りと、ご主人の食材へのこだわりが、また行きたいと思わせるお店でした。

1日20食限定なのでお早めに！